

他のスポーツにも役立つよ 田辺小学生50人体操競技を体験



体操競技体験教室で鉄棒に挑戦する児童(11日、田辺市あけぼのの田辺工業高校で)

体操競技の体験教室が11日、田辺市あけぼのの田辺工業高校であった。県体操協会普及部がスポーツの基礎となる体操に親しんでもらおうと企画。小学生約50人が鉄棒やつり輪などの体操器具を使って、体操の面白さに触れた。

先生役は、田辺工業高校体操部顧問や田辺体操教室、田辺ジュニア体操クラブの指導員ら。全国大会団体10位の田辺工業体操部員や全国準優勝の明洋中学校体操部員らも手伝った。

参加の小学生は田辺体操教室の生徒をはじめ、県教育委員会が運動能力優秀な小学生を発掘・育成する「ゴールデ

ンキッズ」のメンバー、一般とさまざま。和歌山市や古座川町など遠方からの参加もあった。

参加者は体幹を鍛える練習や着地の姿勢などを学んだ後、体操器具を使って体操競技を体験。マットでバック転や側転をしたり、鉄棒で逆上がりをした後、着地のポーズを決めたりした。

古座川町の高池小学校5年、矢本隼暉君(11)は「バック転に興味があって参加した。柔道とテニスをしているけれど、体幹トレーニングは参考になると思う」と目を輝かせた。

補助役を務めた田辺工業体操部副主将で2年の鈴木龍君(16)は「小学生に理解してもらえるよう伝えるのに苦労した。その分、僕自身も学ぶことが多かった」と小さな後輩たちを見守った。

田辺工業体操部顧問の新藤大知さん(23)は「体操は体幹を鍛えたり、筋力アップや神経系の発達に役立つ。体験教室は今後も継続していく。他のスポーツをしている子どももぜひ経験して、将来に役立ててもらいたい」と話した。